工事請負仮契約書

　この仮契約は、山口県議会の議決を経た後、山口県知事が契約の相手方に対し、本契約を成立させる旨の意思表示をしたときに、本契約としての効力を生ずるものとする。

１ 工　　事　　名

２ 工　事　場　所

３ 工　　　　　期 　　着手期日　　　本契約を成立させる旨の意思表示をした日の翌日

　　完成期日　　　令和　　　年　　　月　　　日

|  |  |
| --- | --- |
| ４ 請負代金の額 | 円  （うち消費税及び地方消費税の額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　円） |

|  |  |
| --- | --- |
| ５ 契約保証金 | 円 |

|  |  |
| --- | --- |
| ６ 前払金の額 | 円 |

|  |  |
| --- | --- |
| ７ 中間前払金の額 | 円 |

８ 部分払の回数　　　　　　　 工期中　回以内

９ 解体工事に要する費用等 　　別紙のとおり

１０　建設発生土の搬出先等　　（搬出する予定ありの場合）

　　　　　　　　　　　　　　　「建設発生土の搬出先については仕様書に定めるとおり」

　　　　　　　　　　　　　　　（搬出する予定なしの場合）

　　　　　　　　　　　　　　　「該当なし」

　上記の工事について、発注者と受注者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、別添の条項によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

　また、受注者が共同企業体を結成している場合には、受注者は、この契約書記載の工事を共同連帯して請け負う。

　この契約締結の証として、この証書　通を作成し、発注者と受注者が記名押印の上、各自１通を保有する。

令和　　　年　　　月　　　日

発　注　者

契約担当者 　　印

受　注　者　　住　所

氏　名 　　印

*※受注者が共同企業体を結成している場合は、当該企業体の構成員の数に応じて、証書の作成部数の表記を変更する必要がある。（２社ＪＶの場合は、発注者１＋受注者２＝３となる。）*